

令和2年度 自己評価結果公表シート

作成 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育む。
すべてのいのちを尊び、大切にす。
一人ひとりが育つ和合の保育。
・一人ひとりの子どもを大切にす保育
・保護者とともにある保育
・全職員が協同する幼稚園
・地域に開かれた幼稚園

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染症感染防止
保護者との連携強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・安全・安心	・新型コロナウイルス感染症感染防止の為、毎日の消毒作業の実施に努めた。 ・換気と湿度の管理を徹底した。
・配慮が必要な子ども一人ひとりを理解しその持てる力を高め必要な支援を行う為支援機関や保護者と連携し全教職員の適切な指導・援助の向上を図る。	・支援機関との連携を図り、個人における共通の理解を確認し必要な取り組みを支援した。 ・子どもの発達や子育てに対する保護者の不安感に寄り添い、連絡帳の交換や電話等の機会を多く持ち、理解を深めるようにした。
・子ども一人ひとりの個性の把握と個性に応じた適切な指導・援助の充実	・「ナノティー」「グループライン」等で、教職員間の情報を共有した。
・わらべうたの充実	・コロナ禍のためわらべうたの園内研修を十分に実施することができなかった。
・クラス通信や園通信等で幼稚園の様子や出来事を見て頂き、保護者や地域の方々と連携を深める。	・クラス通信や園通信で、子どもの園での様子をお知らせすると同時に「てのりの」で動画の配信を行った。
・保護者とのコミュニケーションをはかり、本園の保育を保護者に伝える。	・コロナ禍のため対面で話しをする機会が少なくなりましたが、一斉メール・電話で、意見や質問等に対して園の考えを説明した。 ・各担任より電話で園児の様子を現況を聞いたり、現況を把握する等保護者とのコミュニケーションをはかった。 ・YouTubeで「絵本の読み聞かせ」等を配信した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今後取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。
コロナ禍のため教職員同士・保護者との連携を更に深めていくことが重要である。
連携施設である保育園(さらな保育園)・みどりクラブとの連携を深めて、情報の共有を行うことが重要である。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	各関係機関との連携を今まで以上に図れるように努める。 子どもの「こまり感」に対応するべく、研修に積極的に参加する。
教職員間の情報共有と信頼関係の構築	ひき続き教職員間の信頼関係を構築する。「ナノティー」「グループLINE」を活用し、情報共有に努める。
保護者に対する情報の提供	幼児の幼稚園での普段の様子を保護者にもっと分かってもらう為、ホームページ掲示板等をさらに活用したい。 一斉メール・YouTube・てのりのの活用を更に充実させる。
安全・安心	新型コロナウイルス感染防止の観点から、消毒・除菌等に努めたい。

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。
また、新型コロナウイルス感染防止の観点から、引き続き消毒・除菌等に努めると共に、合わせて、今後も引き続き積極的に取り組むことを望むとの意見を頂いた。

